

2026.9.30

船長よりファンド仲間の皆さまへ

代表取締役社長 澤上 龍

おかげさまで、年一度の大型イベント“運用報告会(9/12福岡)”を無事開催できました。記憶に刻まれたのが年次運用報告での次のやりとりです。

「最近のさわかみファンドはベンチマークに負けている。問題ではないか?」との参加者のご質問に対し、弊社の黒島(最高投資責任者)の力強い回答、「私はそうは思わない。長期投資はリズムが重要!」。

直近の1年超、ベンチマークと認識される株価指数が非常に強い状況です。構成の是非は別にして、これだけ強い数字を示されるとパッシブファンドとの比較論が挙がるのも当然でしょう。しかしそもそも、皆さまのさわかみファンドはベンチマークを設けておらず「財産形成のお手伝いをさせていただく」がモットー。セミナーでいただく、「十分に利益が出ていて満足。理念を貫いて」という多くのお声に触れる時、ベンチマーク(目標)はファンド仲間それぞれの心にあることを再認識します。そして、そのお手伝いに尽力することが私たちのミッションだと。ベンチマークだろうと凌駕するのが一番ですが、より重要なのはファンド仲間の皆さまの信頼に応えること。それを肌身で感じられた運用報告会は、さわかみ全社員にとって大成功でした。

今月の航海日誌

取締役最高投資責任者 黒島 光昭

皆さまのさわかみファンドは引き続き慎重な航海を続けています。基準価額は49,000円付近を前後しました。足元の実体経済の家計で気になる数字をご紹介します。マーケットエッセンシャル社のレポートによると、直近の日銀の資金循環統計等から個人の外貨建て資産が新NISA下の2年半(2024年1月～2026年6月)で、およそ98兆円から196兆円へ倍増とのこと。このうち評価益(円安・株高要因)が約59兆円、約39兆円が元本ベースでの外貨建て資産の購入額。ちなみに日本の原油買付額は年間約10兆円ですが、これを上回るペースで新NISA投資によって海外へ資金が流出しています。家計の資産運用行動が円安と長期金利の上昇の要因ともなっていて、企業経営にとっては厳しい局面です。しかし、さわかみファンドはこのような状況でもしっかりと企業価値を向上させ得る企業を厳選し応援投資していますのでご安心ください。9月12日の運用報告会では多数のファンド仲間の皆さまに熱心に聴いていただき誠にありがとうございました。プレゼンでご紹介した「植物眠り症」の研究者をお招きしての対談セミナーを12月に開催しますので、食の安全保障についてご興味のある方はぜひご参加ください。(9月28日)

※さわかみファンドにおけるリスク・手数料については、ページ⑥に記載の「ご留意事項」をご覧ください。

ファンド情報

2026年9月29日現在

顧客数(直販分)

138,692名(直近1か月 -69名)

定期定額購入 契約数

31,194名(全体比22.5%)

定期定額購入サービススケジュール

受付締切日 2026 年
(金額変更・中止) 10月20日(火)

振替日 2026 年
(引落日) 11月2日(月)

約定日 2026 年
(買付日) 11月11日(水)

約定日(買付日)とは…

振替日に引き落とされた金額によって、実際に『さわかみファンド』の買付が行われる日(約定日の基準価額が約定価額となります)

お知らせ

＼2027年春頃、アップデート予定／

さわかみ直販ネットサービス

直 販 ネ ッ ト

UPDATE COMING SOON

現状の資産状況を拝見すると、確実に資産形成が進んでおり、…



ご自身のライフプランに沿った目標設定の明確化が重要です。…

＼特設ページはこちら／

現在、ネットサービスの大幅なアップデートを進めております! 詳細・以降スケジュールは特設ページをご覧ください。



ご不明点は、お気軽にお問合せください。

 ご縁の窓口 **03-6706-4789**